



ロシア語学科の特修コースについて（1年次入学者用）

ロシア語学科においては、2024年度入学者から、入学時に一定のロシア語運用能力を有する人を対象にした「特修コース」を設けます。

1. ロシア語学科・特修コース対象者

ロシア語を母語とするか、あるいは本学入学までにロシア語の一定の運用能力（TORFL 検定試験初級レベル相当以上）を備えた入学者

（例）・日本の高等学校でロシア語を学び一定の運用能力を備えた人

- ・ロシア語で授業を展開する中学校・高等学校で1年以上の教育を受けた人
- ・ロシア語圏の高等学校に10カ月以上留学した人
- ・ロシア語圏に1年以上滞在し、仕事や生活面で日常的にロシア語を使用してきた人
- ・ロシア語母語話者と一緒に暮らすなど、家庭等において日常的にロシア語を使用してきた人
- ・TORFL 検定試験初級レベル取得者 など

2. 特修コースでの学び

特修コースでは、ロシア語を初めて学ぶ通常のカリキュラムとは異なり、カリキュラム表のとおり、言語能力に関する専門科目（必修）において通常のコースの2年次配当分を1年次から履修するなど、一段高いレベルから始め、身に付けた語学力をさらに伸ばすことをめざします。また、卒業に必要な単位数として、通常のカリキュラムより専門科目（必修）の単位数を少なくするかわりに、選択科目の卒業要件単位数を増やし、より幅広く高い運用能力の修得をめざします。

<注意事項>

特修コースの学生は、通常のコースで2年次に履修する授業科目「総合ロシア語Ⅱ」を1年次に履修するため、履修者に対して参加が必須となっている「短期留学」も1年次の夏期休暇中（約1カ月間）に参加していただくことになります。

※短期留学参加には、別途40万円程度の費用（現地での授業料、寮費、航空運賃等）が掛かります。

[費用は2024年3月時点での試算です。]

3. 特修コース学生の申請および決定方法

以下の①～⑦のいずれかに該当し、所定の申請を行った人に対し、入学後に、ロシア語学科がガイダンスおよびロシア語運用能力を測るテストを行い、当該コースの適性があると認めた人を特修コースの学生と決定します。

- ①日本の高等学校でロシア語を学び一定の運用能力を備えた人
- ②ロシア語で授業を展開する中学校・高等学校で1年以上の教育を受けた人
- ③ロシア語圏の高等学校に10カ月以上留学した人
- ④ロシア語圏に1年以上滞在し、仕事や生活面で日常的にロシア語を使用してきた人
- ⑤ロシア語母語話者と一緒に暮らすなど、家庭等において日常的にロシア語を使用してきた人
- ⑥TORFL 検定試験初級レベルを取得している人
- ⑦上記①～⑤と同等レベルの語学力があると自らが判断する人

上記①～⑦に該当する人は、申請フォーム（3月にホームページ掲載予定）から申請を行い、所定のテストを受けてください。テスト等の日程は入学後のスケジュール（3月にホームページ掲載予定）で確認してください。

また、事前に所定の「誓約書」（3月にホームページ掲載予定）をダウンロードし、本人、保証人自署・捺印のうえ、入学後に実施するロシア語運用能力診断テストを受験する際に提出してください。

4. 注意事項

- ・ロシア語学科通常コースと特修コースでは卒業要件等のカリキュラムの内容が異なります。
- ・特修コースの学生となった場合、1年次生の途中であっても、通常のコースに変更することはできません。
- ・2年次および3年次編入学生は、特修コースに申請することはできません。